

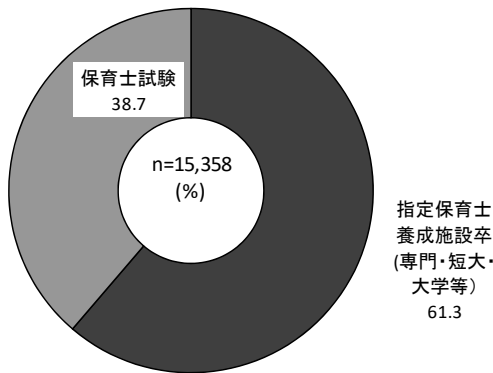
II. 調査結果の概要

1. 保育士有資格者全体の実態

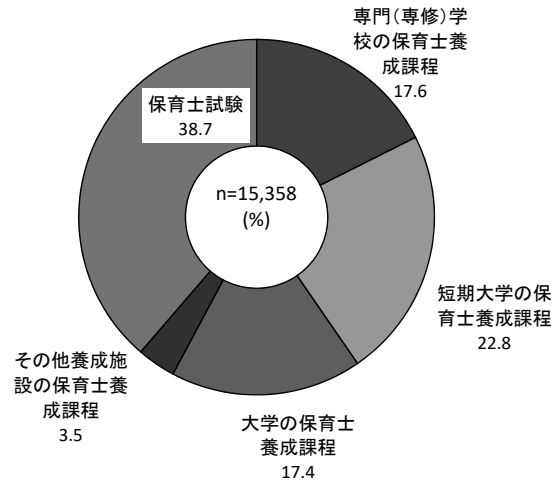
<保育士資格取得方法>

調査回答者のうち、指定保育士養成施設（以下「養成施設」という。）での資格取得者は約6割、保育士試験での資格取得者は約4割となっている。

図表 II-1-1 保育士資格の取得方法



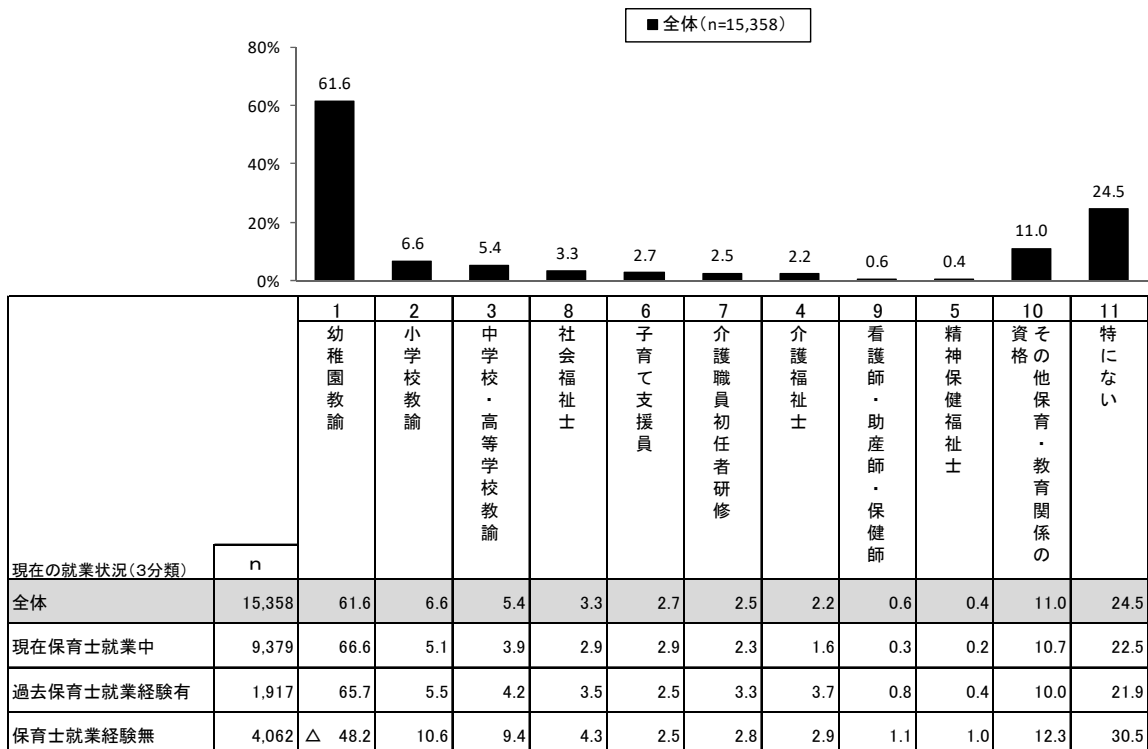
図表 II-1-2 保育士資格の取得方法(詳細)



<幼稚園教諭免許の併有割合>

調査回答者の約6割は幼稚園教諭免許を取得している。取得割合を現在の就業状況別に見ると、現在保育士就業中の者、過去に保育士の就業経験がある者、ともに同様の6割台半ば程度となっている。

図表 II-1-3 保育士以外の取得資格(複数回答)

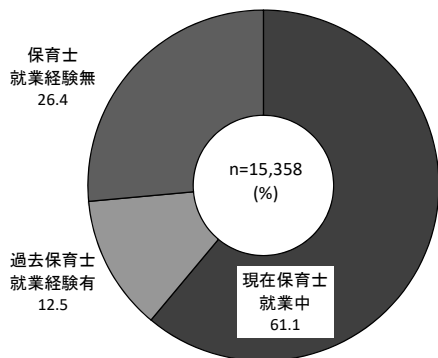


<現在の就業状況>

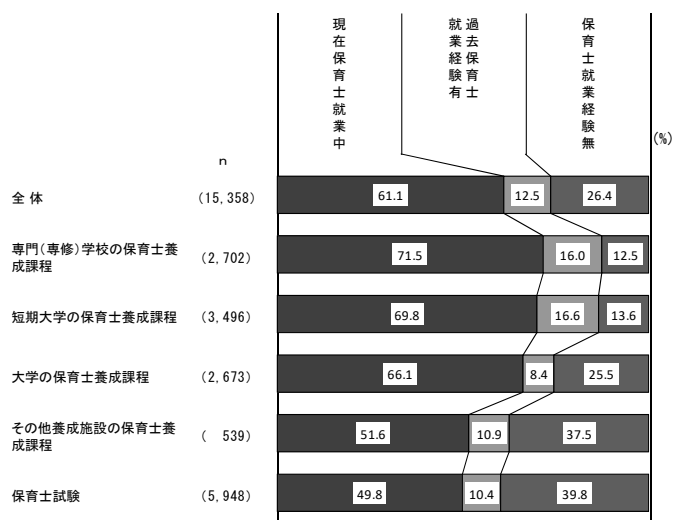
調査回答者のうち、現在保育士として就業中なのは6割強であった。

現在の就業状況を保育士資格取得方法別に見ると、専門(専修)学校の保育士養成課程卒業者は71.5%、短期大学の保育士養成課程卒業者は69.8%、大学の保育士養成課程卒業者は66.1%、その他養成施設の保育士養成課程卒業者は51.6%、保育士試験合格者は49.8%の割合で現在保育士として就業中という結果となった。

図表Ⅱ-1-4 現在の就業状況



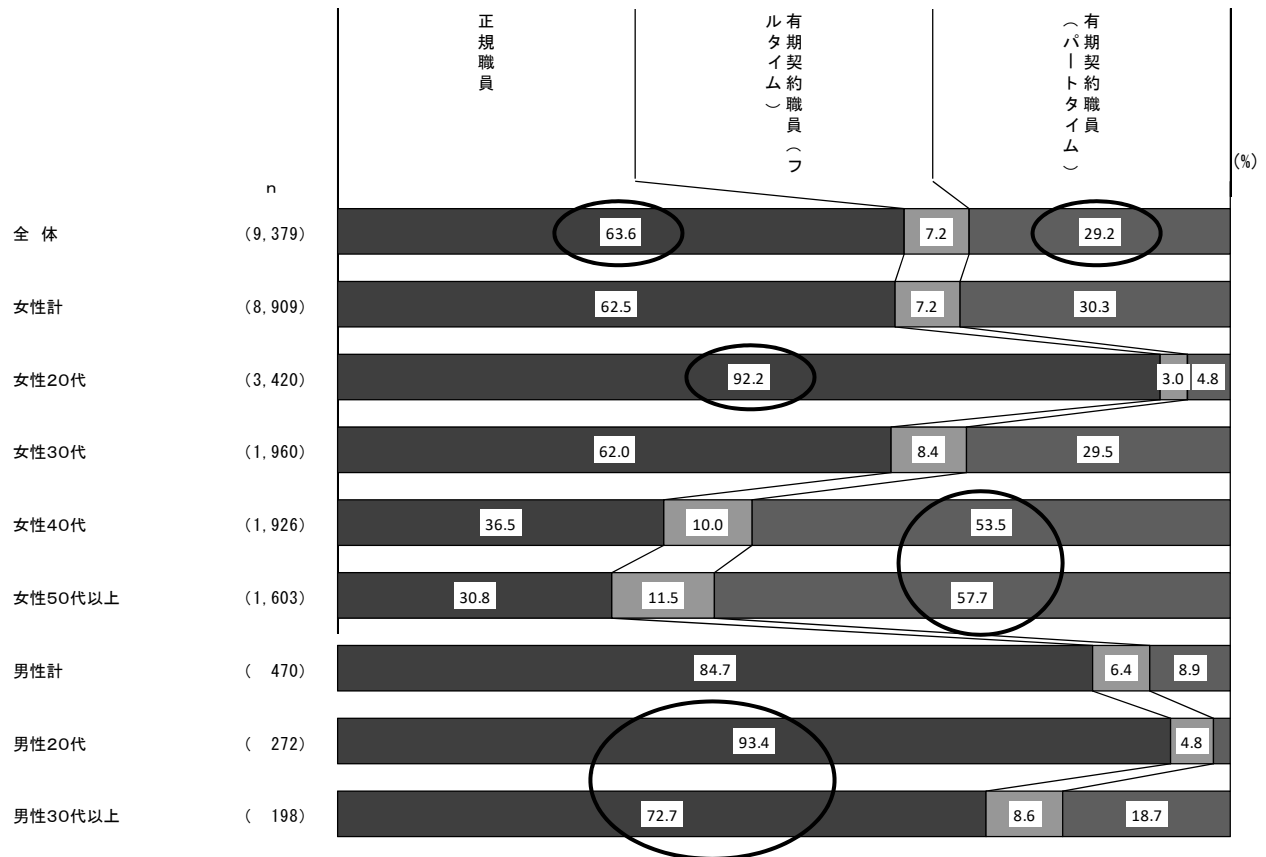
図表Ⅱ-1-5 資格取得方法別現在の就業状況



2. 現在保育士就業中の者の実態

現在保育士として働いている者の雇用形態を見ると、6割以上(63.6%)が「正規職員(以下「正規」という。))」、約3割(29.2%)が「有期契約職員(パートタイム)(以下「パート」という。))」であった。女性では、20代は9割以上が正規である一方、40代以上になると5割以上がパートである。また、男性では、20代は正規が9割以上であるのに対し、30代以上では7割程度にとどまっている。

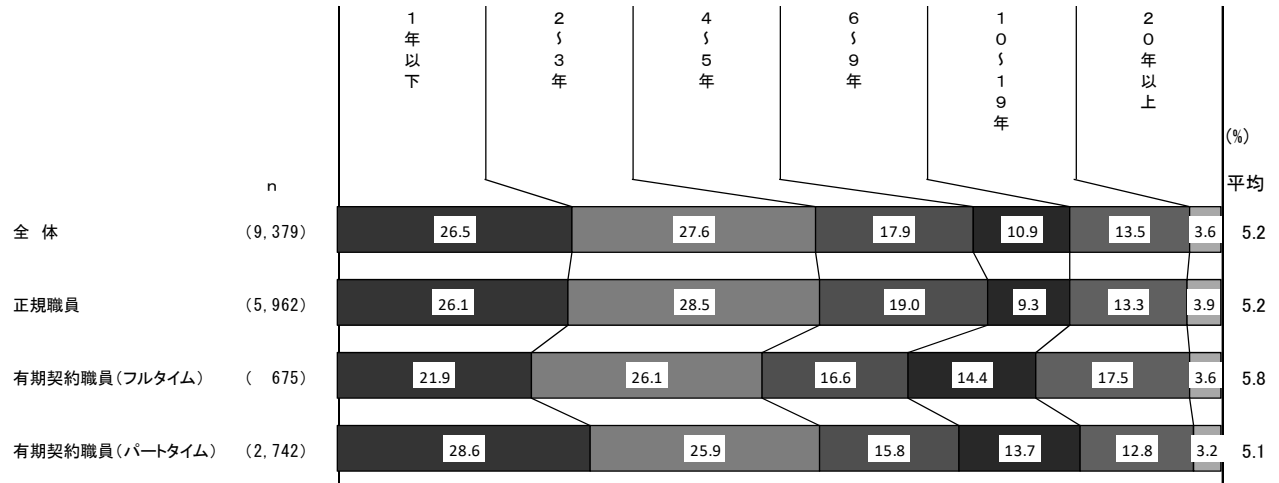
図表Ⅱ-2-1 現在就業中保育士の雇用形態



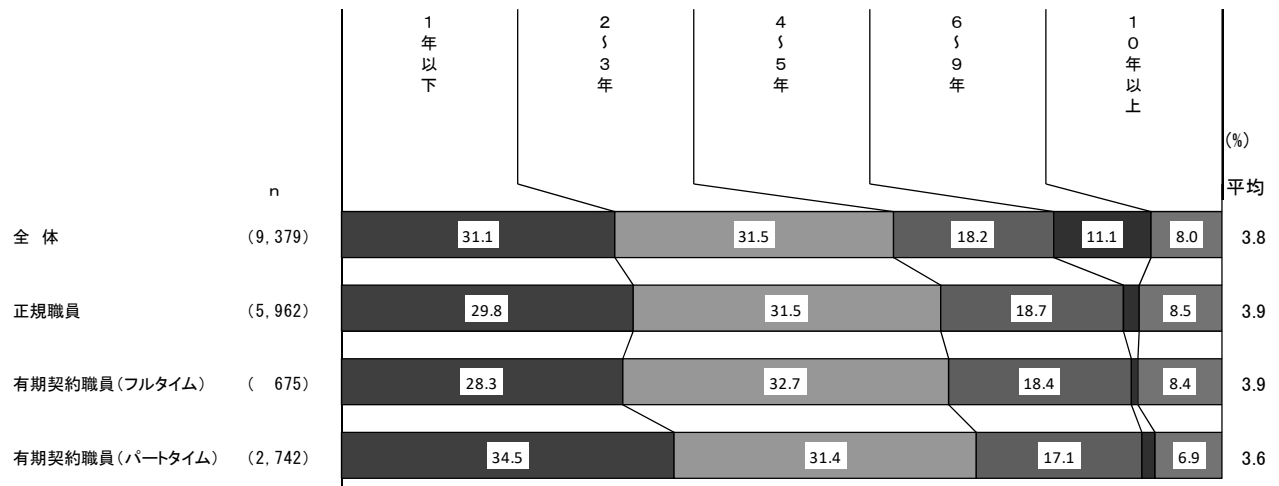
また、保育士通算就業年数は平均約 5.2 年で、正規よりも有期契約職員（フルタイム）（以下「フルタイム」という。）の方が長くなっている。

なお、1 箇所最長就業年数では正規及びフルタイムの平均年数はいずれも 3.9 年、パートの平均年数は 3.6 年となっている。

図表 II-2-2 保育士就業年数(通算)

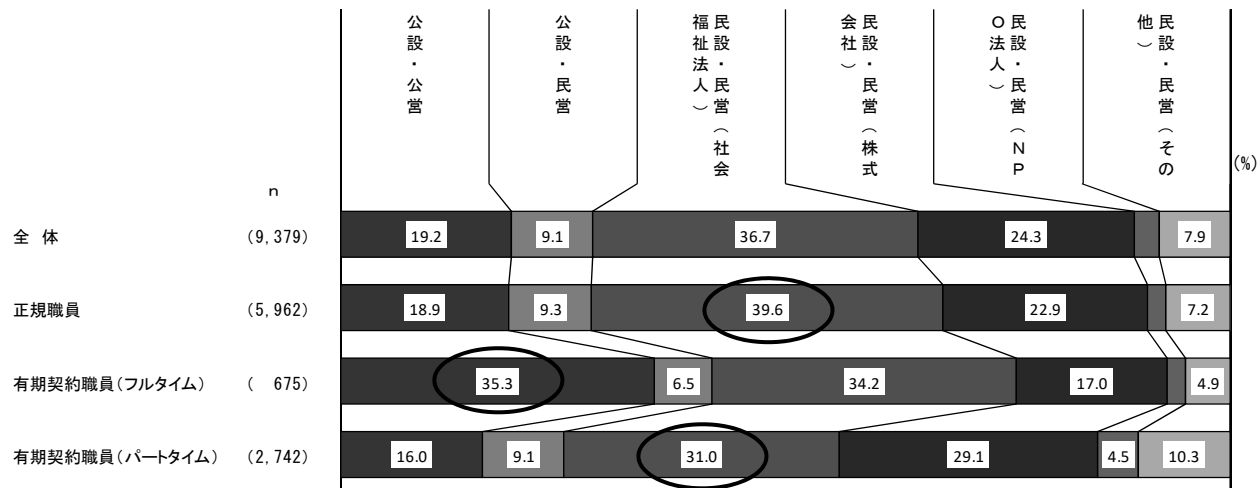


図表 II-2-3 保育士就業年数(1 箇所最長)



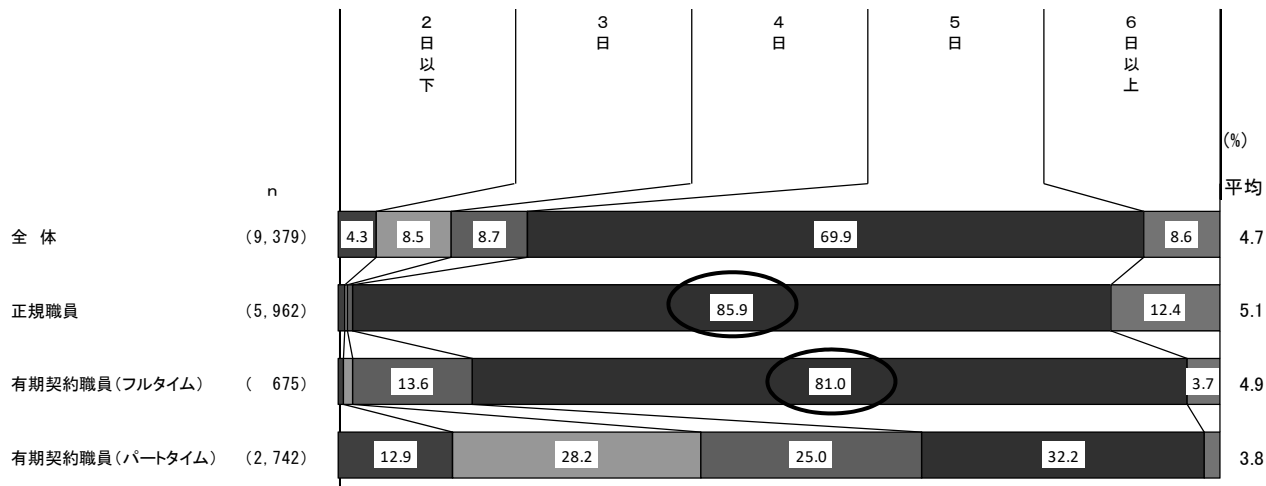
雇用形態別の運営主体を見ると、正規、パートでは「民設・民営（社会福祉法人）」、フルタイムでは「公設・公営」で働く者の割合が高い。

図表Ⅱ-2-4 雇用形態別の運営主体

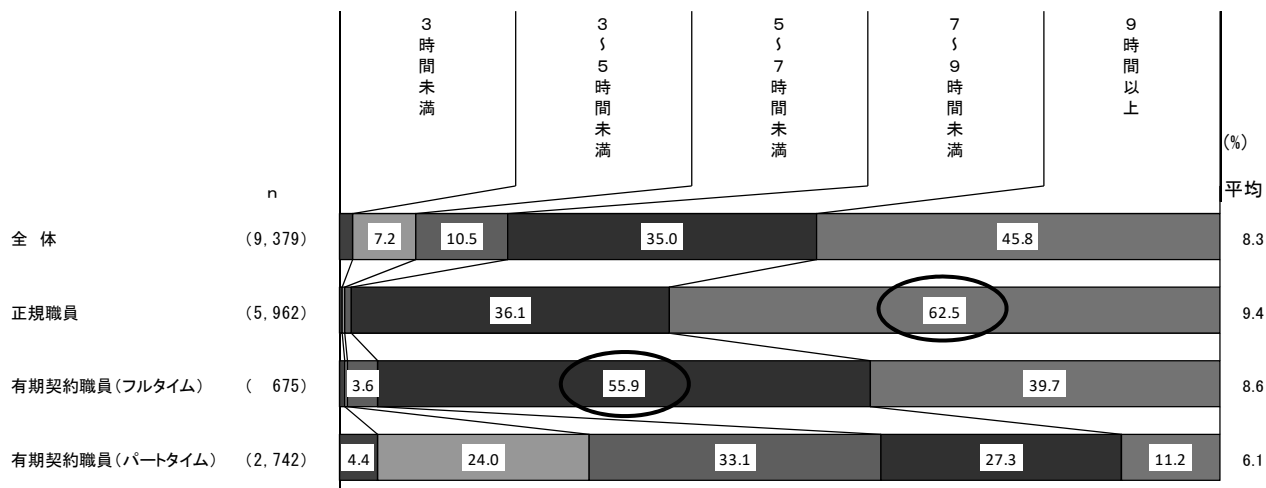


勤務実態等については、正規、フルタイムとも勤務日数5日が8割を超えている。
 一方で、勤務日数6日以上については、正規が12.4%と他よりも高い割合を占めている。
 また、勤務時間について見ると、正規では「9時間以上」、フルタイムでは「7～9時間未満」が半数以上を占めている。

図表Ⅱ-2-5 勤務実態<週あたり日数>



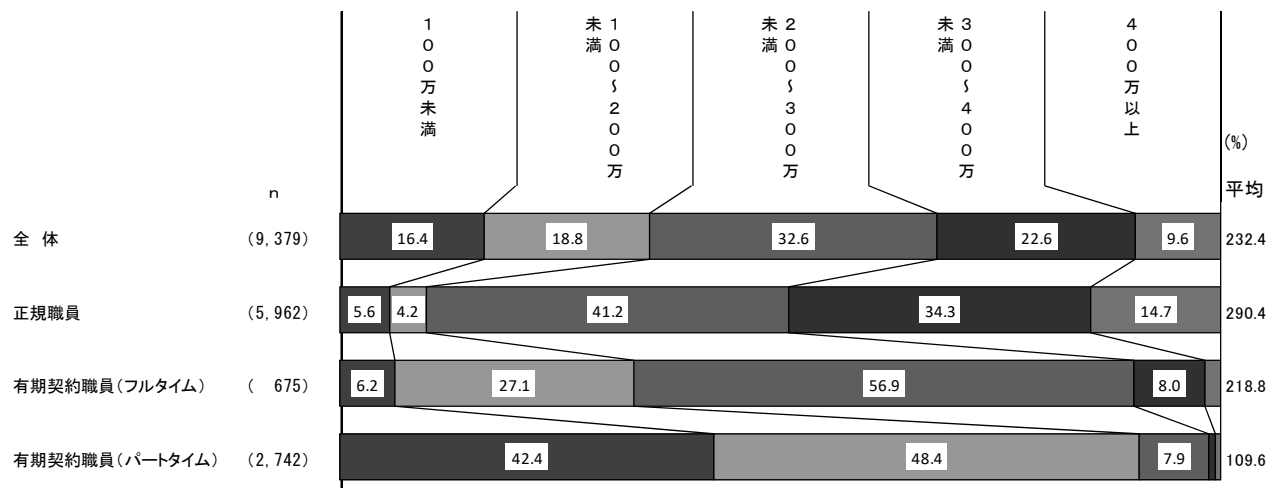
図表Ⅱ-2-6 勤務実態<1日あたり勤務時間>



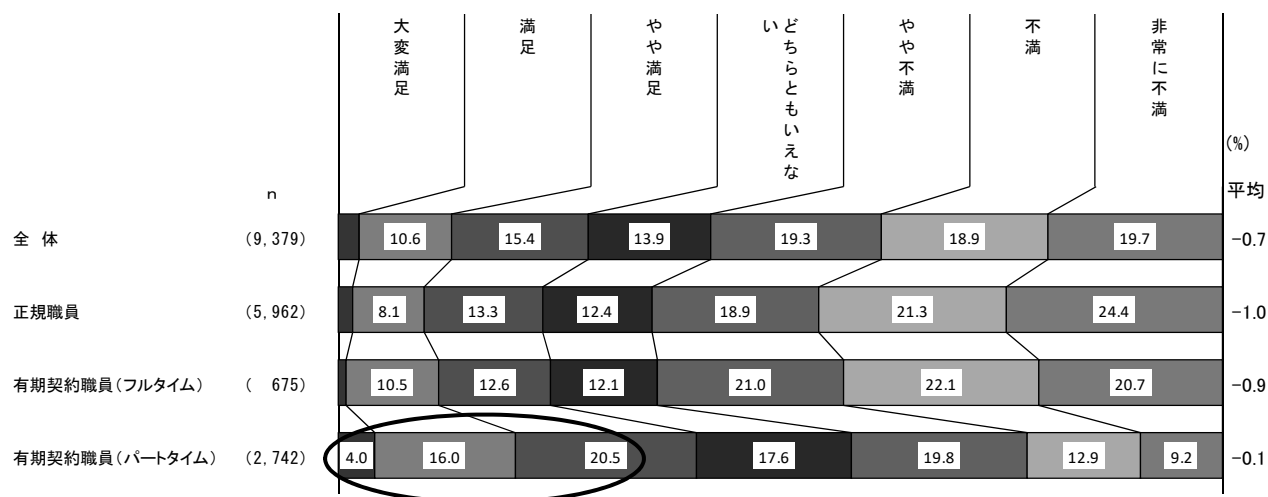
現在保育士就業中の者の平均年収は、232.4万円である。雇用形態別に見ると、正規の平均年収は290.4万円、パートは109.6万円である。給与に対する満足度は、パートの方が、正規やフルタイムに比べて高い。

※ただし、本調査は直近5年間の保育士登録者(書換え等含む)が対象のため、保育士登録者全体の年収よりも低くなっていることが予想される。

図表Ⅱ-2-7 勤務実態<年収>



図表Ⅱ-2-8 給与・賞与等の満足度

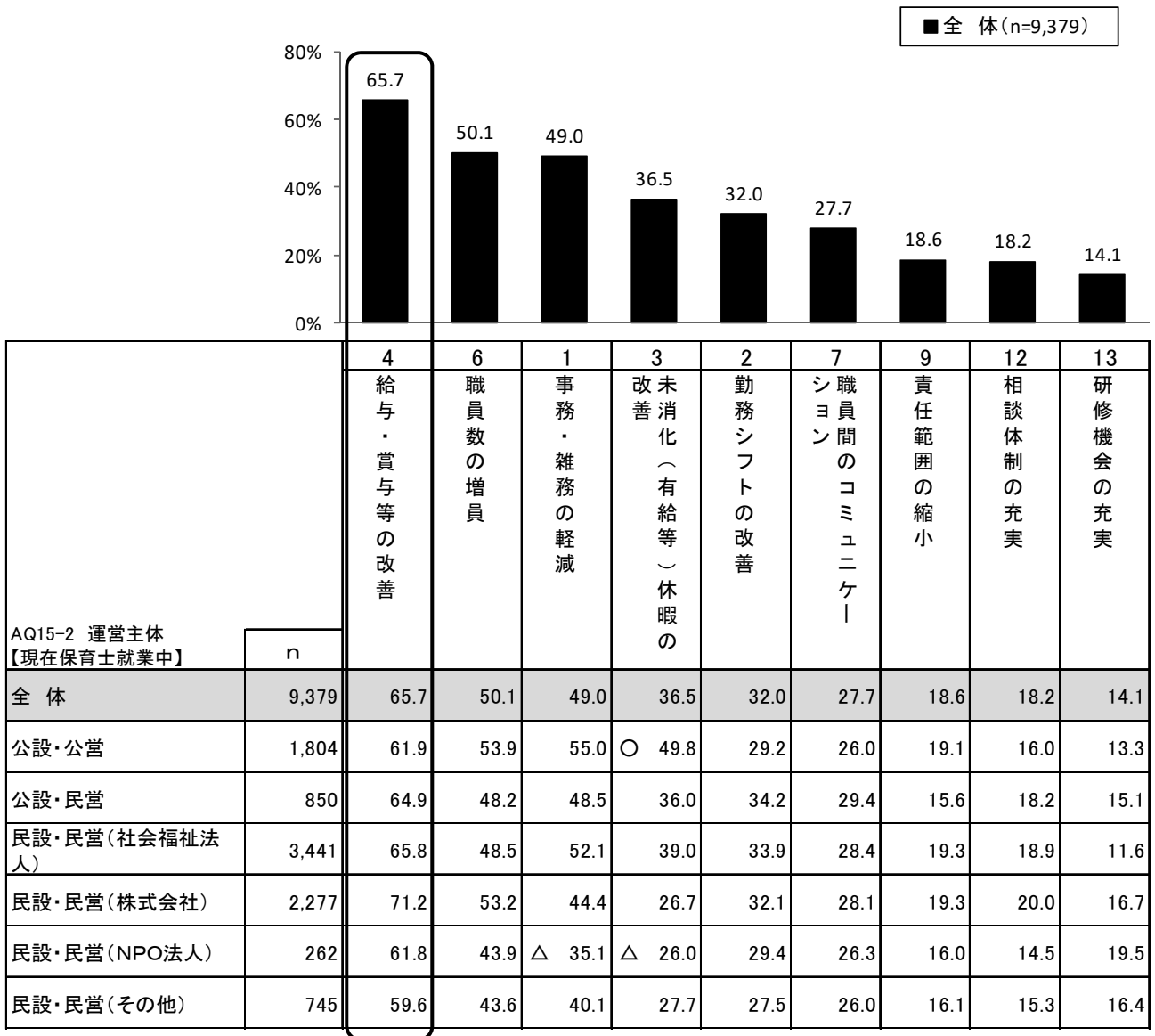


※平均の意味はP59を参照。

現在の職場への改善希望事項としては、「給与・賞与等の改善」を希望する割合が最も高く、特に民設・民営(株式会社)でその傾向が強い。

また、民設・民営(株式会社)では「相談体制の充実」を希望する割合も他の運営主体と比べて高くなっている。公設・公営では「職員数の増員」、「事務・雑務の軽減」、「未消化休暇の改善」を希望する割合が高くなっている。

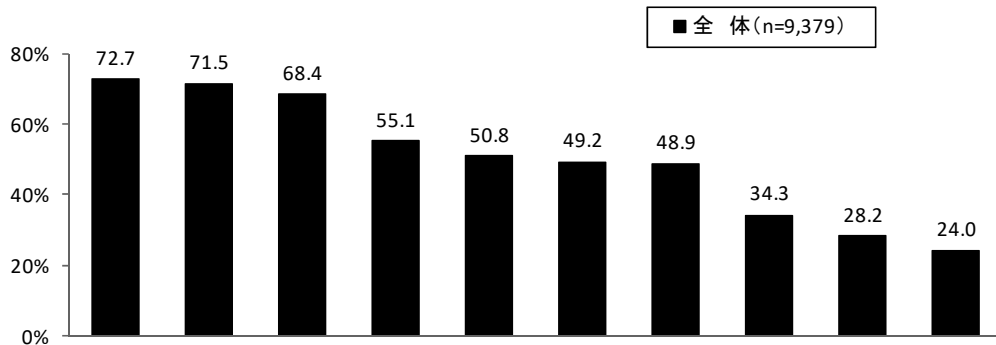
図表Ⅱ-2-9 運営主体別の職場への改善希望事項(複数回答)



※回答の多かった上位10項目のみ掲載。その他選択肢の結果はP68を参照。

現在保育士就業中の者が、就業継続に当たり習得を希望する知識・技能としては、「保育実技」、「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」、「発達心理学」の割合が高い。

図表Ⅱ-2-10 習得を希望する知識・技術(複数回答)



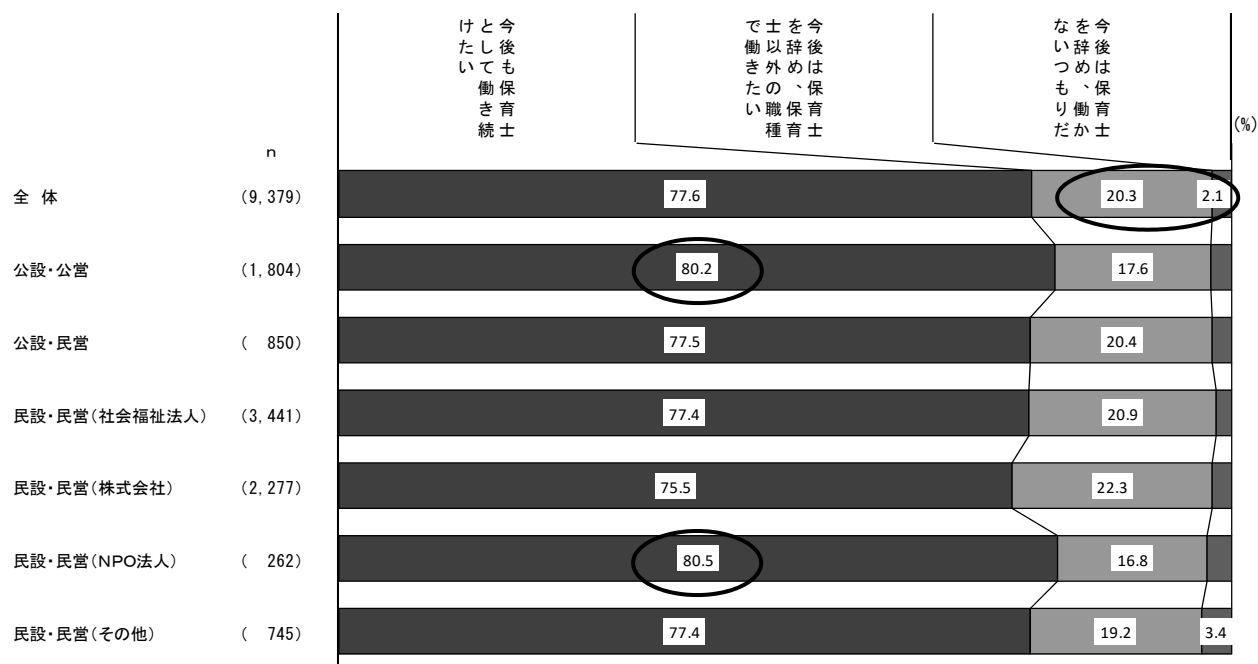
AQ15-4 雇用形態 【現在保育士就業中】	n	1	8	5	2	11	7	3	4	6	13
		保育実技	特別な支援を必要とする子どもへの接し方	発達心理学	救命救急	保護者との対応の仕方	応 食育・食物アレルギー対	安全管理	衛生管理	保育所保育指針	末のパソコンやタブレット
全体	9,379	72.7	71.5	68.4	55.1	50.8	49.2	48.9	34.3	28.2	24.0
正規職員	5,962	79.8	72.3	69.8	54.6	59.1	52.2	51.6	34.8	34.0	25.7
有期契約職員(フルタイム)	675	68.9	75.4	72.3	55.0	43.4	49.6	46.2	31.6	22.4	24.6
有期契約職員(パートタイム)	2,742	△ 58.3	68.6	64.3	56.3	△ 34.7	42.7	43.4	33.7	△ 17.2	20.3

※回答の多かった上位10項目のみ掲載。その他選択肢の結果はP73を参照。

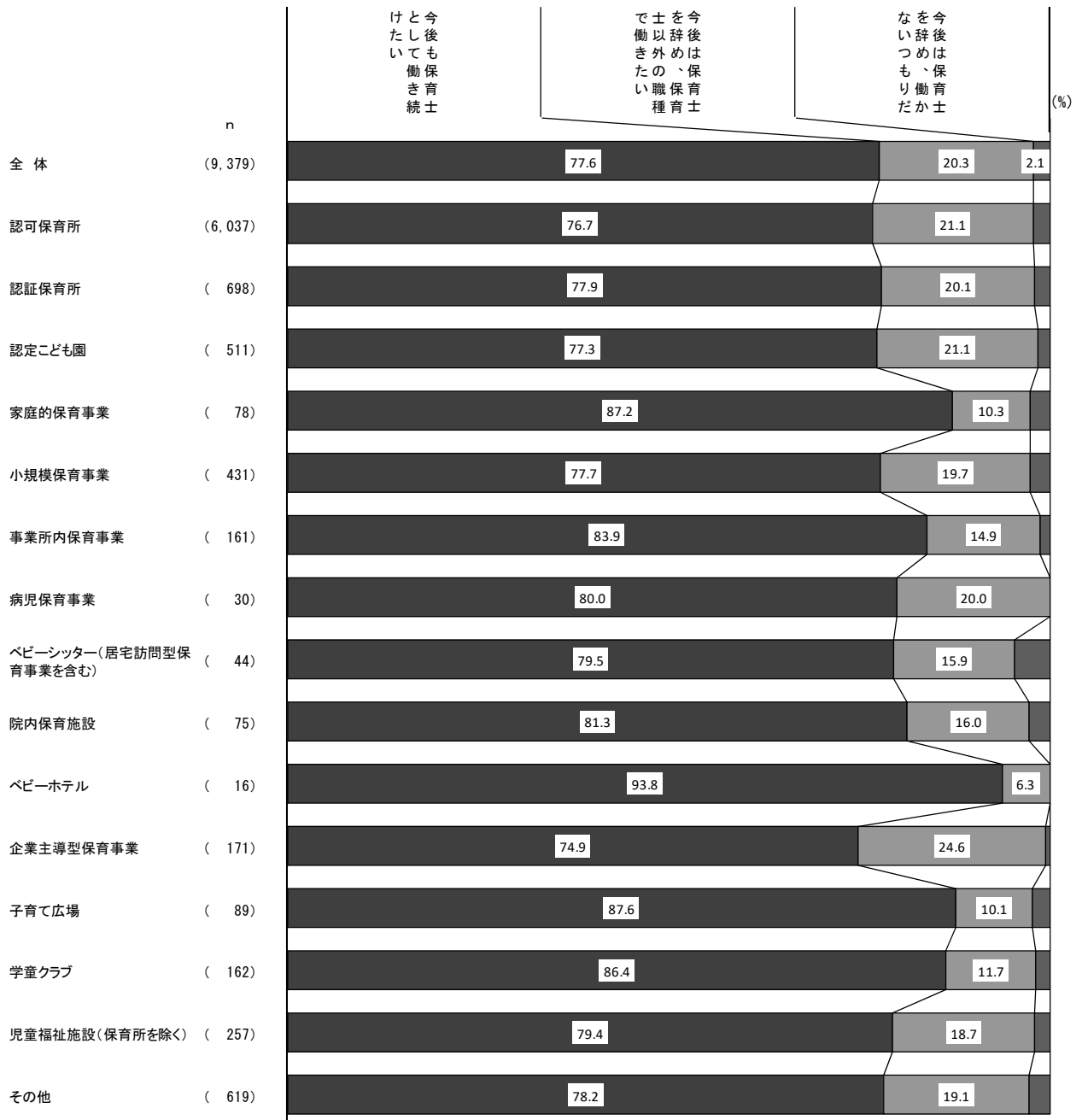
現在保育士として働いている者のうち、離職を考えている者の割合は、約2割(「今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」:20.3%、「今後は保育士を辞め、働かないつもりだ」:2.1%)となっている。

運営主体別にみると、「民設・民営(NPO法人)」(80.5%)、「公設・公営」(80.2%)は他の運営主体よりも就業継続意向が高い。

図表Ⅱ-2-11 今後の就業継続意向(運営主体別)



図表Ⅱ-2-12 今後の就業継続意向(施設類型別)

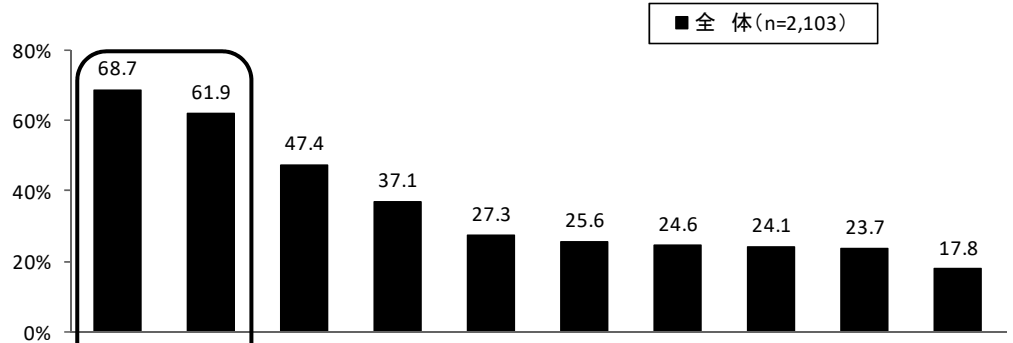


現在保育士として働いている者のうち、退職意向者の退職意向理由については、「給料が安い」や「仕事量が多い」が挙げられており、特に正規でその傾向が強い。

図表Ⅱ-2-13 就業継続意向と職場への改善希望点(複数回答)

		4	6	1	3	2	7	9	12	13	11	5	10	8	14	15
		給与・賞与等の改善	職員数の増員	事務・雑務の軽減	善未消化(有給等)休暇の改善	勤務シフトの改善	ン職員間のコミュニケーション	責任範囲の縮小	相談体制の充実	研修機会の充実	針園(など)の理念や運営方針	用雇用の安定化(正社員登)	評価制度の見直し	権限範囲の拡大	その他	特になし
AQ29 保育士就業継続意向【現在保育士就業者】	n															
全体	9,379	65.7	50.1	49.0	36.5	32.0	27.7	18.6	18.2	14.1	12.6	12.3	11.7	5.4	11.2	6.2
今後も保育士として働きたい	7,276	62.6	46.9	45.4	33.6	28.7	25.7	15.2	16.8	14.3	10.8	11.7	9.9	4.6	10.6	7.3
今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい	1,903	77.4	61.3	62.2	46.9	43.4	34.8	31.0	23.3	13.6	19.1	14.2	18.3	8.3	13.7	1.8
今後は保育士を辞め、働かないつもりだ	200	65.5	61.0	55.5	44.0	42.0	32.0	25.5	18.5	12.0	15.5	13.5	14.0	5.0	10.5	6.0

図表Ⅱ-2-14 退職意向理由(複数回答)

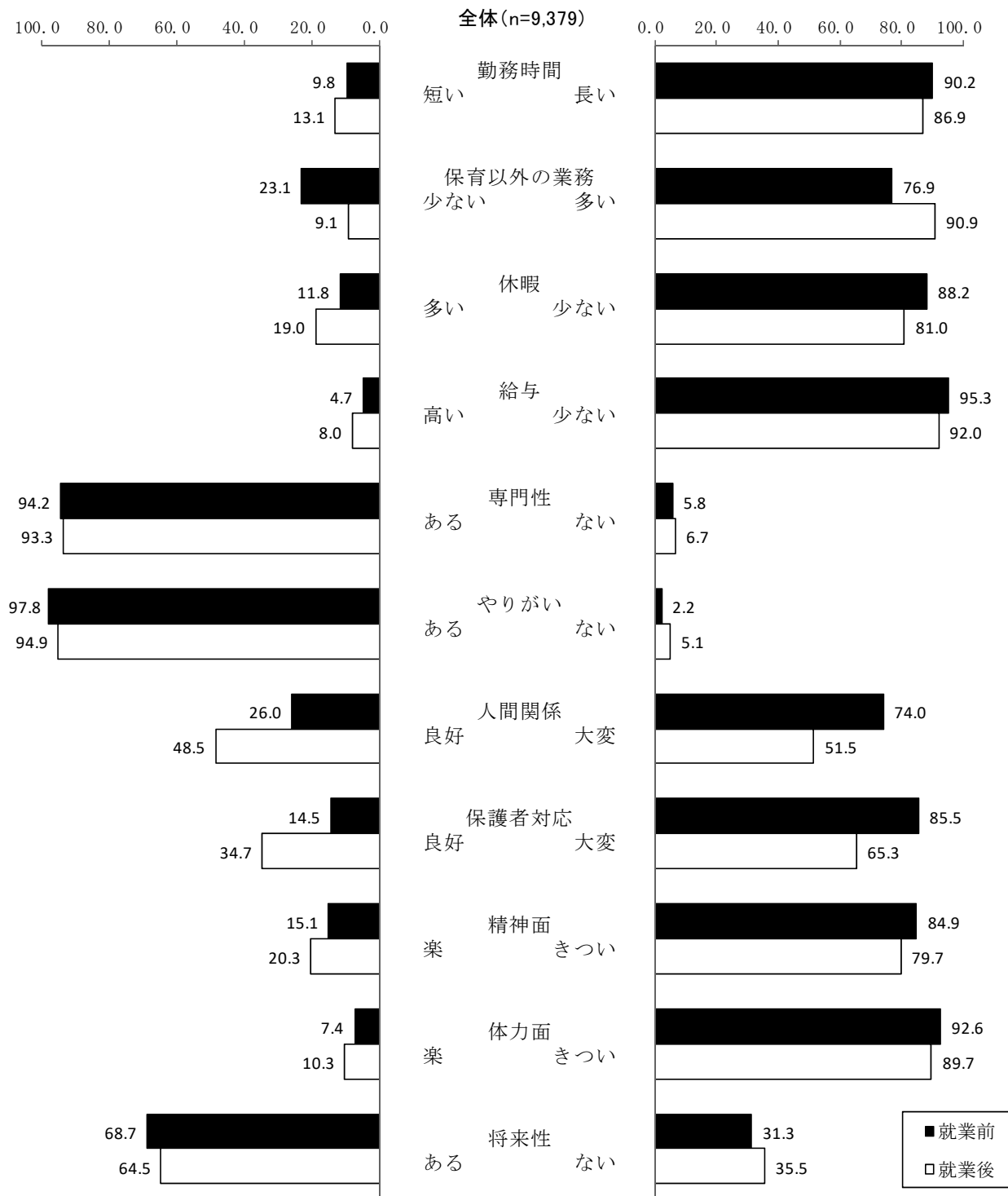


		6	7	8	9	12	11	10	3	4	2
		給料が安い	仕事量が多い	労働時間が長い	職場の人間関係	他業種への興味	職業適性に対する不安	保護者対応の大変さ	子育て・家事	健康上の理由(体力含む)	妊娠・出産
AQ15-4 雇用形態【現在保育士就業者】	n										
全体	2,103	68.7	61.9	47.4	37.1	27.3	25.6	24.6	24.1	23.7	17.8
正規職員	1,575	72.7	69.8	56.6	39.6	28.2	28.4	29.0	26.7	20.7	21.6
有期契約職員(フルタイム)	118	68.6	51.7	31.4	36.4	24.6	24.6	16.1	14.4	27.1	11.0
有期契約職員(パートタイム)	410	53.4	34.4	16.3	27.8	24.9	15.1	10.2	17.1	34.1	5.1

※回答の多かった上位10項目のみ掲載。その他選択肢の結果はP86を参照。

現在保育士として働いている者の就業前後のイメージについて、全体的に大きな変化は見られないが、その中でも変化が見られたのは人間関係の「大変」と保護者対応の「大変」であり、就業後に「良好」と捉える者の割合が増加している。

図表Ⅱ-2-15 就業前後のイメージ

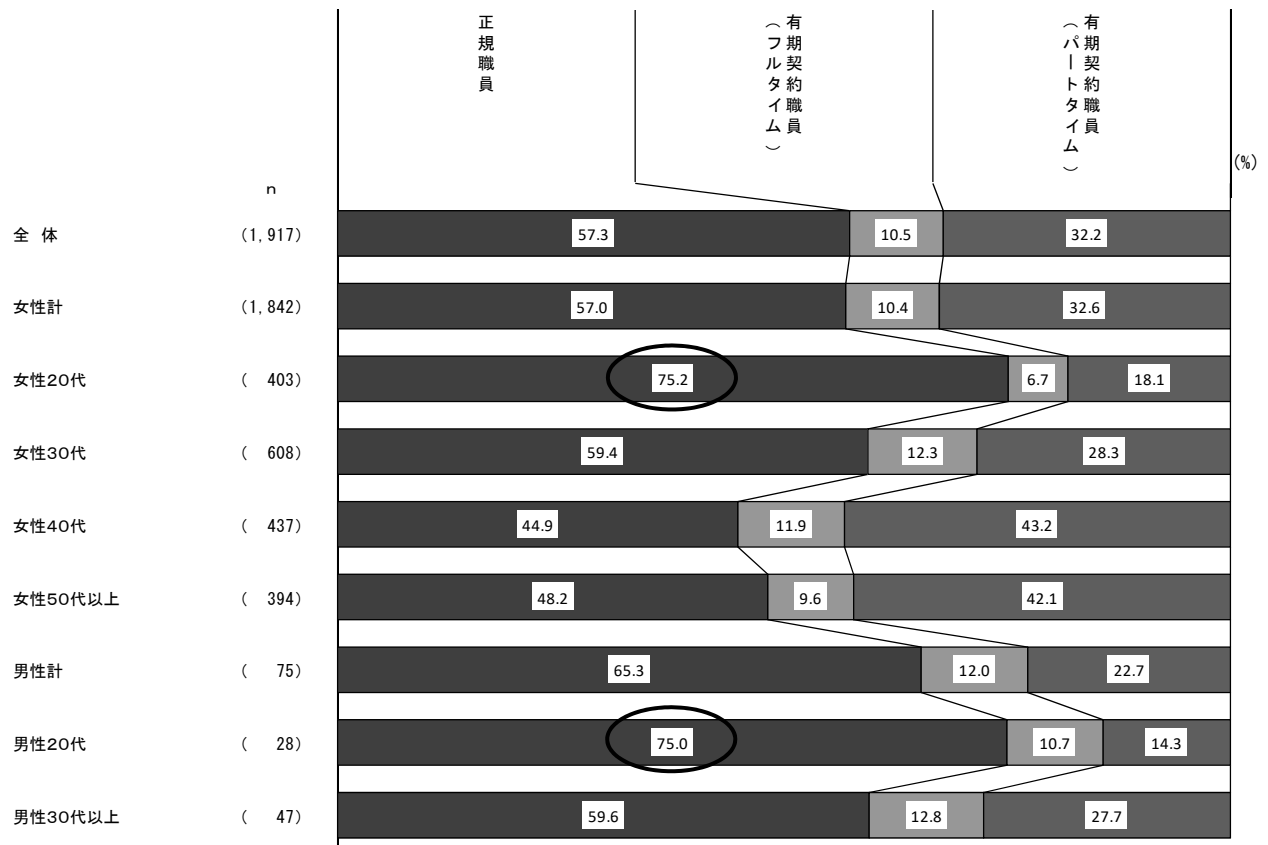


3. 過去に保育士就業経験がある者の実態

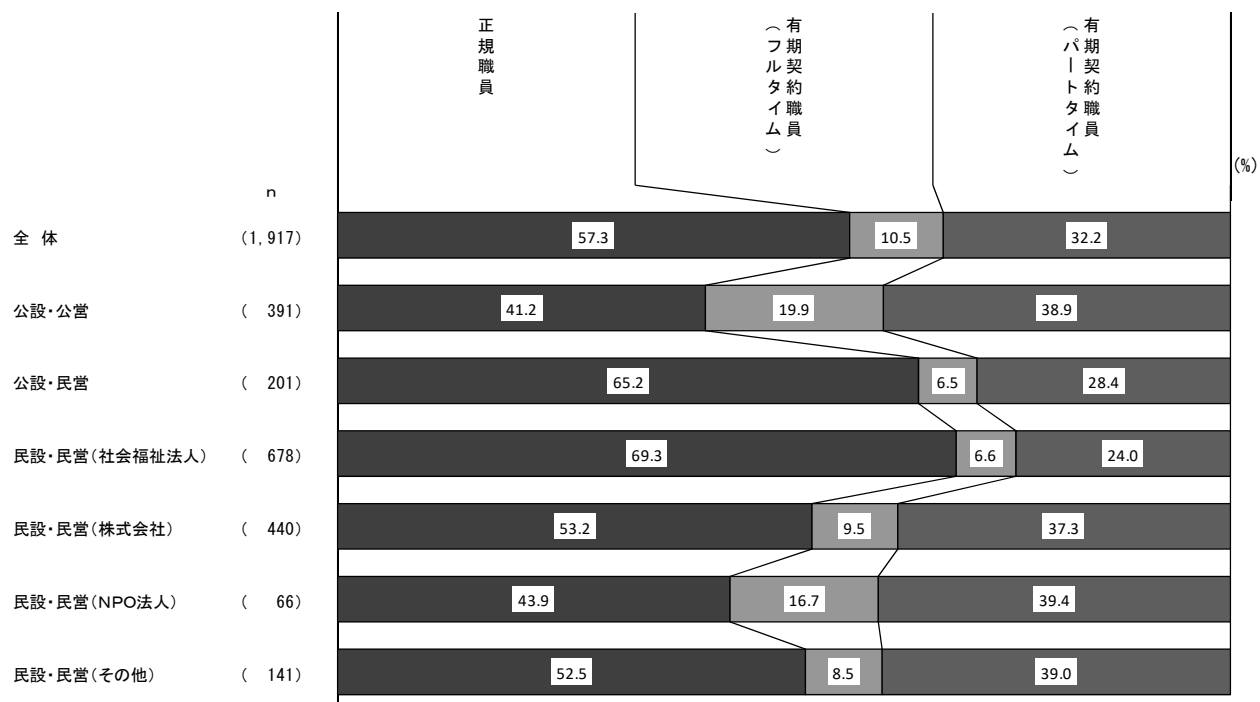
過去に保育士経験がある者の当時の雇用形態は、男女ともに20代で「正規職員」の割合が7割以上と高い。

また、運営主体別に見ると、「正規職員」の割合が公営よりも民営で高い。

図表Ⅱ-3-1 当時の雇用形態(性・年代別)



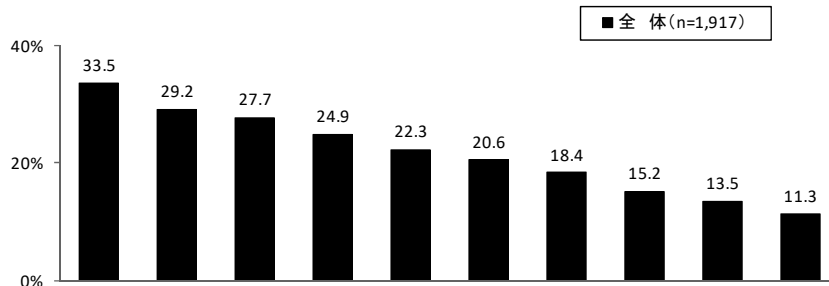
図表Ⅱ-3-2 当時の雇用形態(運営主体別)



保育士を辞めた理由としては、「職場の人間関係」が最も多い。

また、「給料が安い」が2番目に多く挙げられているが、再就業時の条件としては、「給与等」よりも「通勤時間」や「勤務日数」、「勤務時間」の割合が高くなっている。

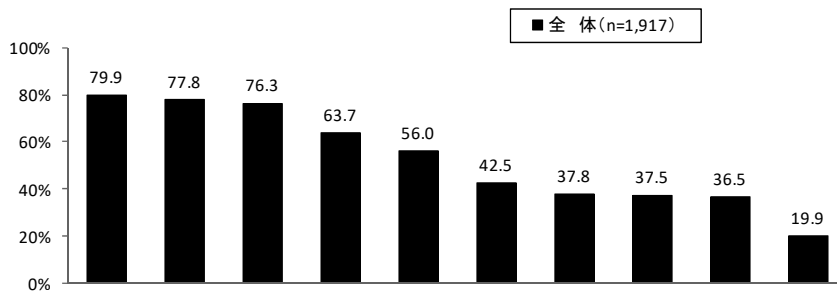
図表Ⅱ-3-3 保育士を辞めた理由(複数回答)



BQ13-4 雇用形態 【過去保育士就業経験有】	n	9	6	7	8	2	4	1	12	3	5
		職場の人間関係	給料が安い	仕事量が多い	労働時間が長い	妊娠・出産	健康上の理由(体力含)	結婚	他業種への興味	子育て・家事	転居
全体	1,917	33.5	29.2	27.7	24.9	22.3	20.6	18.4	15.2	13.5	11.3
正規職員	1,099	39.2	31.2	34.8	33.3	21.7	24.2	24.4	14.3	12.9	13.1
有期契約職員(フルタイム)	201	34.3	28.4	25.9	20.9	22.4	21.9	20.4	10.4	12.9	11.9
有期契約職員(パートタイム)	617	△ 23.0	△ 25.8	△ 15.6	△ 11.2	△ 23.3	△ 13.6	△ 7.0	△ 18.5	△ 14.7	△ 7.8

※回答の多かった上位10項目のみ掲載。その他選択肢の結果はP116を参照。

図表Ⅱ-3-4 保育士再就業時の希望条件(複数回答)



BQ13-4 雇用形態 【過去保育士就業経験有】	n	3	1	2	4	6	10	8	5	7	9
		通勤時間	勤務日数	勤務時間	給与等	雇用形態(パート・非常勤)	働くことが可能な家庭の状況	自身のキャリアアップが可能なことやアツプら	雇用形態(正社員採用)	施設の運営方針への納得感	自身の健康状況の改善
全体	1,917	79.9	77.8	76.3	63.7	56.0	42.5	37.8	37.5	36.5	19.9
正規職員	1,099	79.7	76.6	76.2	66.5	52.7	40.3	37.1	43.7	37.8	21.0
有期契約職員(フルタイム)	201	79.1	79.1	75.1	64.2	52.7	43.3	44.8	42.8	36.3	22.4
有期契約職員(パートタイム)	617	80.6	79.4	76.8	58.5	63.0	46.2	36.6	△ 24.8	34.2	17.2

※回答の多かった上位10項目のみ掲載。その他選択肢の結果はP117を参照。

過去に保育士就業経験がある者の希望する年収額について、過去正規で雇用されていた者の希望額は276.2万円である。

しかし、正規職員雇用のみを希望する者の希望年収を見ると321.5万円であり、現在正規職員実態額の約1割増しとなっている。

さらに、パート・非常勤雇用のみを希望する者の希望年収額は200.6万円となっており、これは現在有期契約職員(パートタイム)の実態額(109.6万円)の約2倍となっている。

図表Ⅱ-3-5 再就業時の希望年収平均額と現在保育士年収平均額

(単位:万円)

再就職時希望額全体	255.6			現在保育士実態全体	232.4
過去正規職員の希望額	276.2	正規職員雇用のみ希望者の希望額	321.5	現在正規職員実態額	290.4
過去有期契約職員(フルタイム)の希望額	268.4	パート・非常勤雇用のみ希望者の希望額	200.6	現在有期契約職員(フルタイム)の実態額	218.8
過去有期契約職員(パートタイム)の希望額	209.2			現在有期契約職員(パートタイム)の実態額	109.6

(参考:運営主体別・雇用形態別の現在保育士年収平均額)

単位(上段:万円)

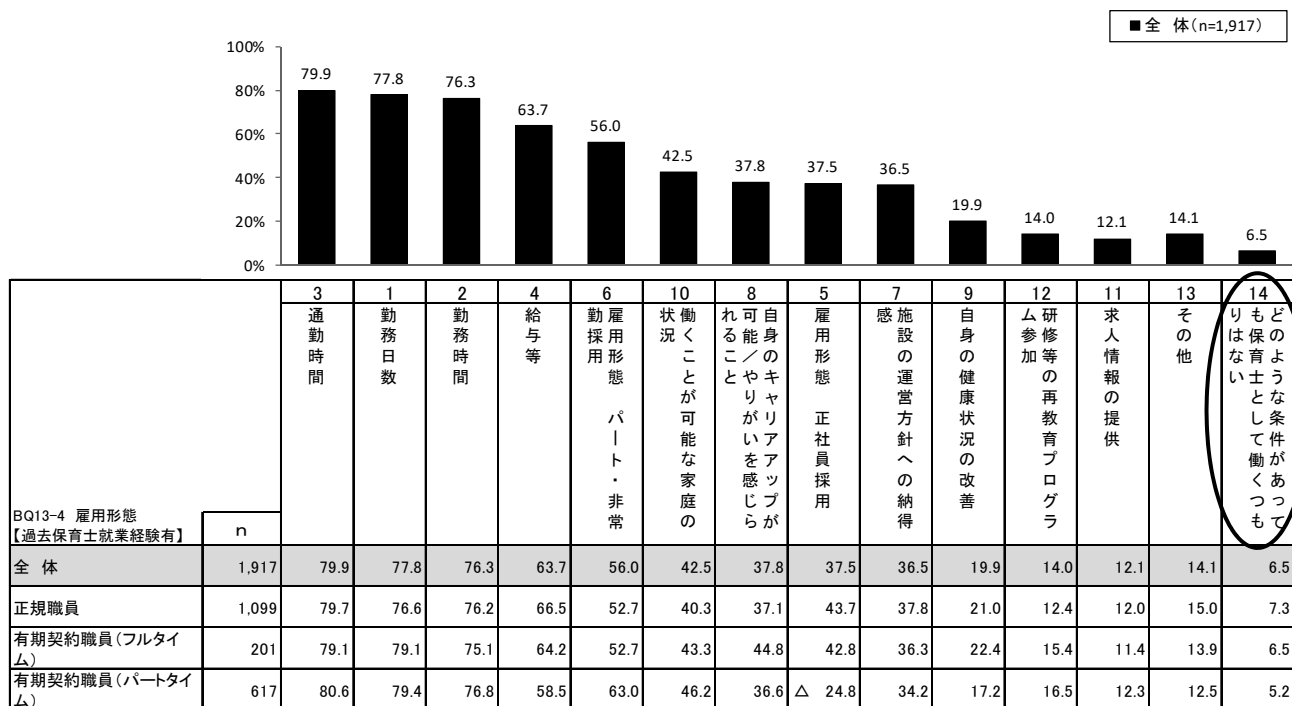
(下段:人)

	公設・公営	公設・民営	民設・民営 (社会福祉法人)	民設・民営 (株式会社)	民設・民営 (NPO法人)	民設・民営 (その他)	
全体平均額	264.0	231.7	241.0	205.4	190.6	214.1	
	1,804	850	3,441	2,277	262	745	
雇用形態別平均額	正規職員	330.0	287.0	288.2	264.7	273.9	289.5
		1,128	556	2,359	1,365	124	430
	有期契約職員(フルタイム)	227.4	250.9	212.5	210.3	215.0	189.2
		238	44	231	115	14	33
	有期契約職員(パートタイム)	113.9	105.3	118.0	103.2	104.6	102.0
		438	250	851	797	124	282

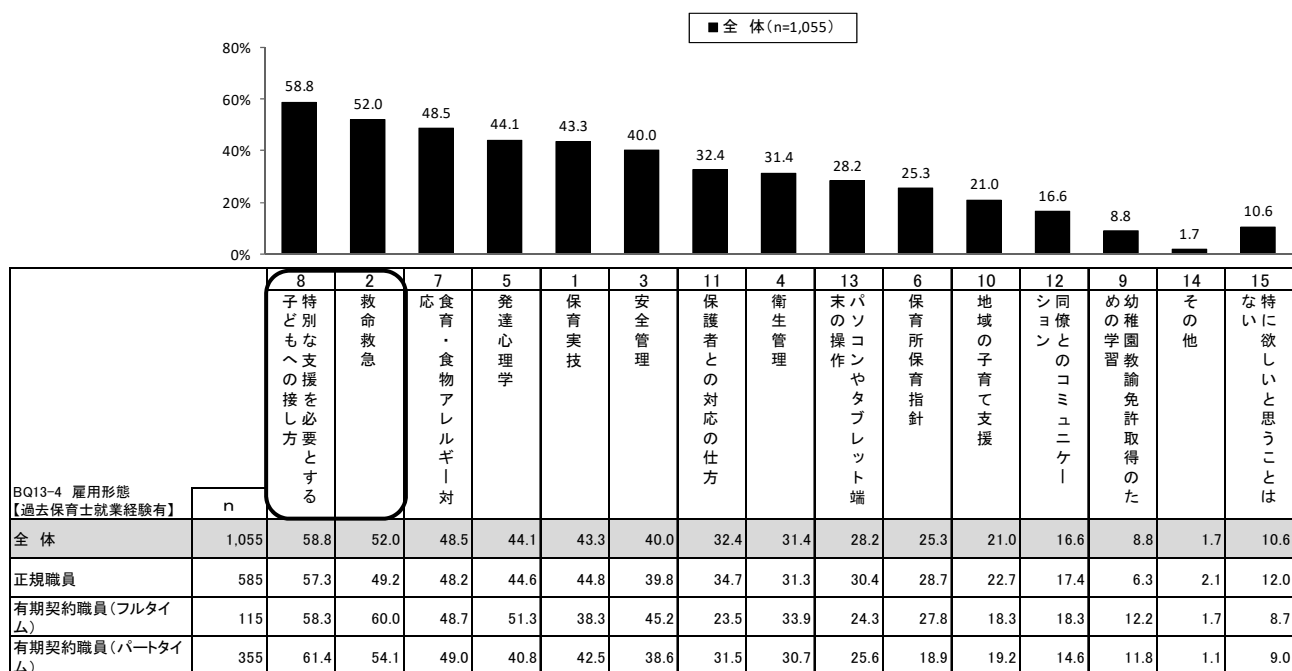
保育士として就業するための条件を尋ねたところ、「どのような条件があっても保育士として働くつもりはない」と回答した者は6.5%であり、過去に保育士就業経験がある者の多くは、希望条件が合えば再び保育士として就業する可能性があると考えられる。

また、再就業時に習得を希望する知識や技術については、「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」、「救命救急」の割合が高くなっている。

図表Ⅱ-3-6 再就業時の希望条件(複数回答)



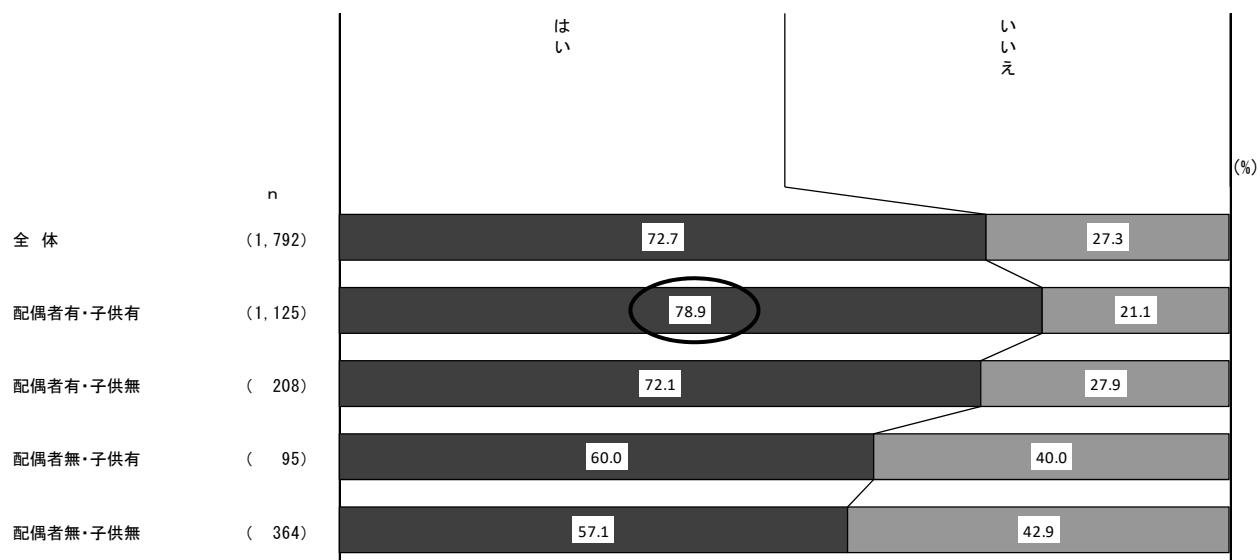
図表Ⅱ-3-7 再就業時の習得希望知識と技術(複数回答)



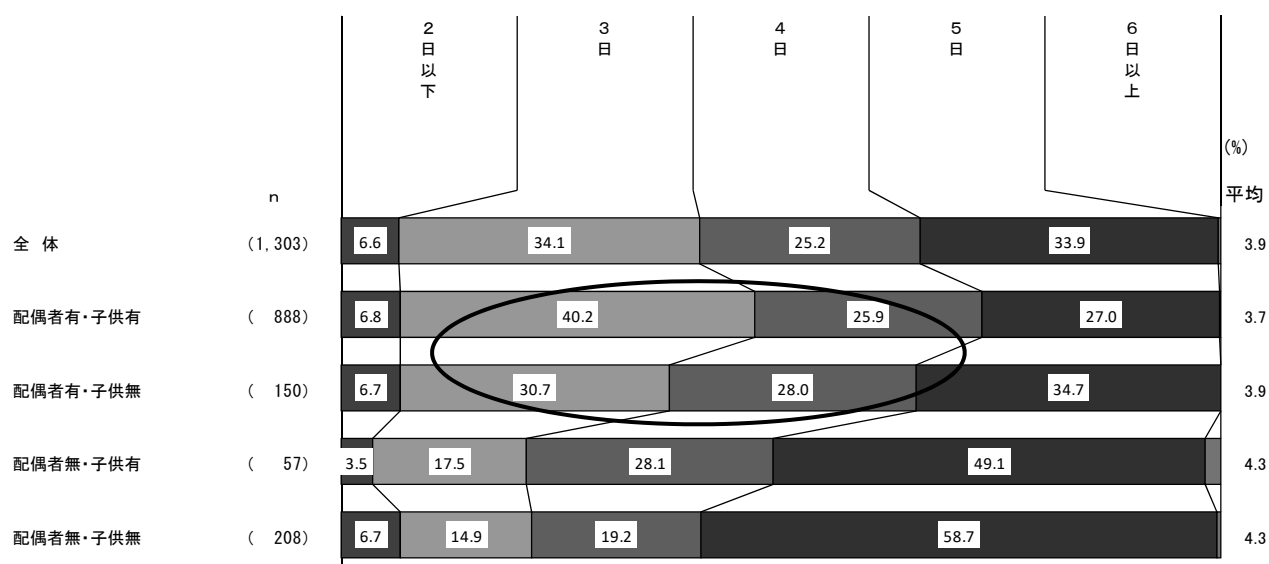
時間単位勤務での復職意向は全体で7割を超えている。配偶者・子供の有無別で見ると、「配偶者有・子供有」では8割近くの者が、時間単位での復職意向があることがわかる。

時間単位勤務における就業希望条件では、「配偶者有」では半数以上が「3日」または「4日」と回答しており、配偶者無では約半数が「5日」と回答している。

図表Ⅱ-3-8 時間単位での復職意向(配偶者・子供の有無別)



図表Ⅱ-3-9 時間単位勤務に求める条件<勤務日数>(配偶者・子供の有無別)



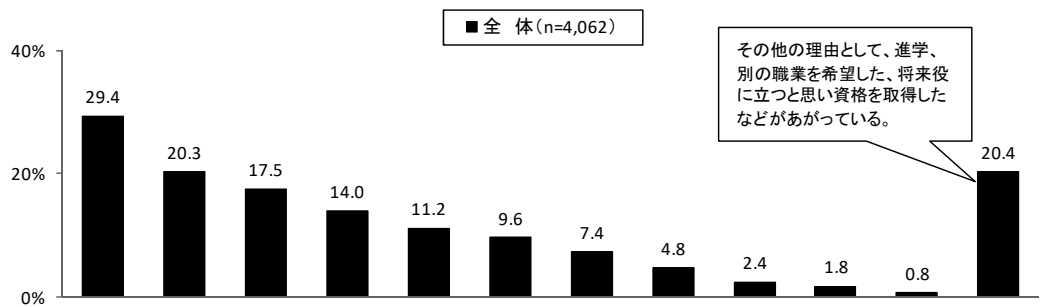
4. 保育士としての就業経験がない者の実態

保育士経験のない有資格者は、全回答者 15,358 人のうち3割弱の 4,062 人となっている。

保育士経験のない有資格者が保育士として働かなかった理由としては、「幼稚園の勤務を希望した」が約3割で最も高く、次いで「希望する給与等待遇の求人がなかった」となっている。

「就職活動をしたが、採用されなかった」、「そもそも保育士の求人の情報がなかった」が理由の者の割合は低い。

図表Ⅱ-4-1 保育士として未就業の理由(複数回答)



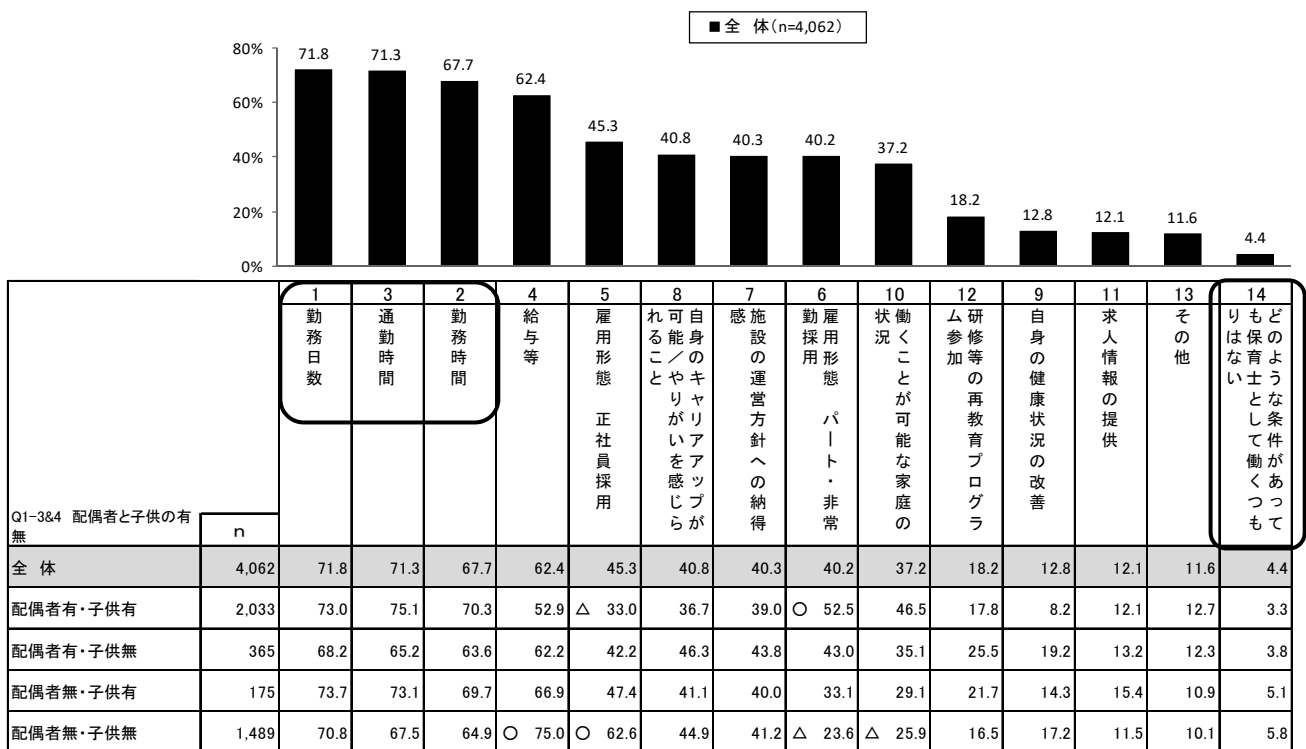
Q1-3&4 配偶者と子供の有無	n	8	5	9	4	10	2	7	1	11	3	6	12
		た幼稚園での勤務を希望し	人が希望する給与等待遇の求	別の職業を希望した	る勤務日数・時間が合致す	意め資格取得が目的として、働く	か家事・育児に専念した	じ自分には適性がないと感	働く必要がなかった	家族等の意向	されなかったが、採用	情報もなかった	その他
全 体	4,062	29.4	20.3	17.5	14.0	11.2	9.6	7.4	4.8	2.4	1.8	0.8	20.4
配偶者有・子供有	2,033	21.0	19.5	13.2	19.9	11.4	17.9	4.0	6.9	3.6	1.9	0.9	24.1
配偶者有・子供無	365	29.6	22.5	19.7	12.1	18.4	3.6	6.6	4.9	1.1	1.4	0.0	18.4
配偶者無・子供有	175	△ 18.3	25.7	16.0	17.7	10.9	7.4	2.9	2.3	2.3	3.4	0.0	○ 32.0
配偶者無・子供無	1,489	○ 42.1	20.3	23.0	5.8	9.1	0.1	12.8	2.2	1.1	1.5	0.9	14.5

保育士経験のない有資格者に保育士として就業するための条件を尋ねたところ、「どのような条件があっても保育士として働くつもりはない」と回答した者は4.4%であり、多くの保育士就業未経験者が、希望条件が合えば保育士として就業する可能性があると考えられる。具体的な条件としては「給与等」よりも「通勤時間」や「勤務日数」、「勤務時間」の割合が高く、「配偶者有・子供有」では週5日より、週3～4日を希望する者の割合が高い。

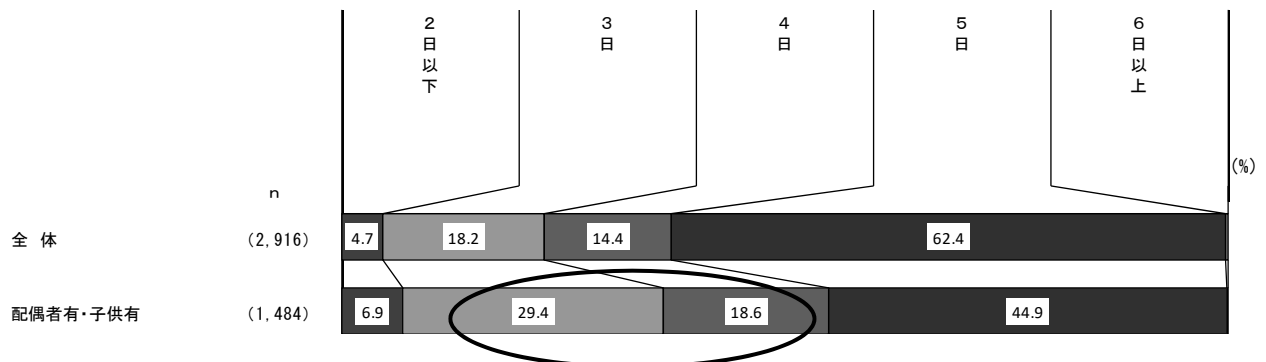
なお、年収は過去に保育士経験がある者の再就業条件よりも、未経験者の希望(イメージ)する額の方が高く、正規職員のみを希望する者の希望年収は332.4万円、パート・非常勤のみを希望する者の希望年収は226.9万円となっている。

また、就業時に習得を希望する知識や技術については、「救急救命」、「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」、「保育実技」の順である。時間単位での就業意向を見ると、約7割に時間単位での就業意向があることがわかる。

図表Ⅱ-4-2 就業時の希望条件(複数回答)



図表Ⅱ-4-3 希望する週あたり勤務日数(全体と配偶者有・子供有の比較)

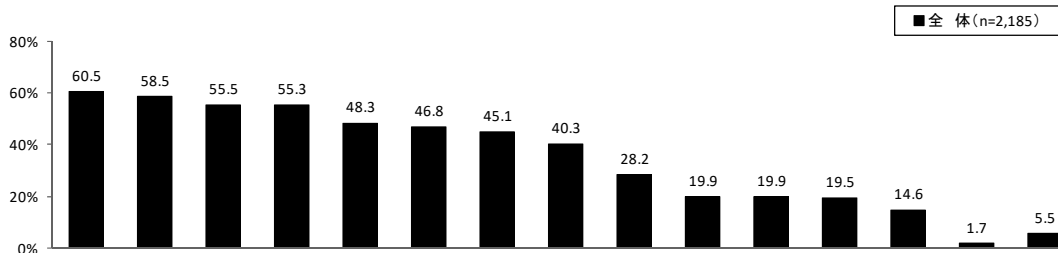


図表Ⅱ-4-4 未経験者の就業時の希望年収平均額と過去保育士希望年収平均額

(単位:万円)

保育士経験無の就業時希望額全体	301.3	過去保育士経験者の再就業時希望額全体	255.6
正規職員雇用のみ希望者の希望額	332.4	同左	321.5
パート・非常勤雇用のみ希望者の希望額	226.9	同左	200.6

図表Ⅱ-4-5 保育士就業時の習得希望知識と技術(複数回答)



Q1-3&4 配偶者と子供の有無	n	習得希望知識と技術														
		2 救命救急	8 特別な子どもへの接し方	1 保育実技	7 食育・食物アレルギー対応	3 安全管理	11 保護者との対応の仕方	5 発達心理学	4 衛生管理	10 地域の子育て支援	6 保育所保育指針	13 端末の操作やタブレット	12 同僚とのコミュニケーション	9 幼稚園教諭免許取得のための学習	14 その他	15 特に欲しいと思うことはない
全体	2,185	60.5	58.5	55.5	55.3	48.3	46.8	45.1	40.3	28.2	19.9	19.9	19.5	14.6	1.7	5.5
配偶者有・子供有	1,352	61.5	57.8	52.9	53.3	47.5	45.3	44.0	40.2	28.2	18.3	20.0	16.4	18.0	1.8	5.4
配偶者有・子供無	180	63.3	54.4	64.4	59.4	57.2	51.1	41.7	46.1	30.0	25.6	20.0	23.9	12.8	0.6	6.1
配偶者無・子供有	95	56.8	51.6	41.1	43.2	36.8	34.7	36.8	26.3	25.3	16.8	24.2	15.8	9.5	3.2	7.4
配偶者無・子供無	558	57.7	62.9	61.3	60.9	49.5	51.1	50.4	41.2	28.1	22.4	19.0	26.2	7.9	1.4	5.2

図表Ⅱ-4-6 時間単位での就業意向(配偶者・子供の有無別)

